

# 腫瘍内科

## 1. 診療科の概要

当科では内科学全般に関する幅広い知識や技術のみならず、消化器腫瘍および臨床腫瘍学に関する専門的な能力も有する内科医の育成を目指している。

外来診療では、食道がん、胃がん、大腸がんなど消化管悪性腫瘍の専門外来、肝細胞がん、肝内胆管がん、転移性肝がんなど肝悪性腫瘍や、胆管がん、胆嚢がん、膵がんなど胆膵悪性腫瘍の専門外来、多発性骨髄腫、悪性リンパ腫などの血液悪性腫瘍、各診療科と共同で骨軟部肉腫や頭頸部癌、原発不明癌等に対するがん薬物療法を担当している。また 2020 年から遺伝子診療科と共に遺伝子パネル検査およびその先の治療を目的としたがんゲノム外来を開始。上記の外来をそれぞれの専門医師が担当している。

入院診療では、各専門医師を指導医として、診療医や臨床研修医からなるチームを構成し、十分な検討と一歩踏み込んだ医療を実践している。治療の分野において、消化管領域では、早期食道がん、胃がん、大腸がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術など低侵襲治療を行っている。一方、進行した食道がん、胃がんや大腸がんに対しては積極的ながん薬物療法を行い、その予後を改善させている。肝胆膵領域では、ERCP や EUS-FNA などを用いた内視鏡検査・治療のほか、以前には体外からチューブを留置してドレナージしていた疾患に対し、超音波内視鏡を用いたドレナージを行うことで、QOL を保ちながら同様の効果を得ることが可能となっている。進行期の肝胆膵癌においてはキャンサーボードで複数科の専門的知見を統合しながら最適な治療を模索、実施している。免疫チェックポイント阻害剤や遺伝子パネル検査を背景とした Genotype-matched therapy など、多様化するがん薬物療法を積極的に適用している。血液悪性疾患や抗癌剤感受性の高い癌種（精巣腫瘍など）に対しては末梢血幹細胞移植併用超大量化学療法を行っている。さらに診療手技としてはがん薬物療法に必須の PICC や CV カテーテル、CV ポート造設を日常診療として頻回に行っている。

## 2. 臨床研修指導医

指導責任者（教授）： 高田 弘一

指導医： 宮西 浩嗣、村瀬 和幸、大沼 啓之、吉田 真誠、大須賀 崇裕、  
久保 智洋、岡川 泰、石川 和真、村松 丈児

## 3. 研修担当者

氏名： 村瀬 和幸                      連絡先： murase@sapmed.ac.jp

## 4. 研修初日の集合時刻と集合場所

集合時刻： 9時00分                  集合場所： 臨床教育研究棟 7F 腫瘍内科学講座教室

## 5. 到達目標

- ・外来または病棟において下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応ができる。  
＜ショック、体重減少・るい瘦、黄疸、発熱、吐血・喀血、下血・血便、嘔気・嘔吐、腹痛、便通異常（下痢・便秘）、終末期の症候＞
- ・外来または病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたることことができる。  
＜急性胃腸炎、胃癌、消化性潰瘍、肝炎・肝硬変、胆石症、大腸癌＞

## 6. 研修内容

### (1) 回診とカンファレンス

- ・机上回診による症例検討会を週1回行い、入院患者一人一人について病態、鑑別診断、治療法等の検討を行う。
- ・総回診を週1回行い、各指導医から患者の総合的な診察法について指導を受ける。
- ・オンコロジー・肝、消化管、胆膵チームに分かれて各グループカンファレンスを週1回行う。
- ・毎週火曜日に消化管キャンサーボードおよび木曜に肝胆膵キャンサーボードを行う。

- ・ 毎週水曜日にエキスパートパネル(遺伝子パネル検査結果の検討会)に参加する。

(2) 研究会

- ・ 国内外の一流医学雑誌の臨床に関するもの(クリニカルジャーナルクラブ:CJC)と、研究に関するもの(リサーチジャーナルクラブ:RJC)の抄読会を随時行う。

7. 研修医の主な業務

- ・ 主治医として担当患者を受け持ち、病棟回診およびカンファレンスに参加。患者の治療方針を立案および実施する。その治療計画に合わせて、適切な検査および薬物の投与を行う。特に当科では主になんがん薬物療法の修練を行う。
- ・ 希望のチームを各研修医の希望に合わせて2週間-4週間-8週間単位で研修する。それぞれのチームに合わせた検査手技に積極的に参加し、最終的には自身で実施することを目標とする。具体的にはCV・PICCカテーテル挿入、CVポートの造設、胃カメラ、大腸カメラの内視鏡検査、エコー検査実施を目指す。
- ・ クリニカルジャーナルクラブに参加し、臨床論文に対する討論を行う。また自身が発表者として、プレゼンを担当する。
- ・ 適切な症例が当たった場合は、地方会、全国会で学会発表を行う。
- ・ 担当患者のサマリーを適切に記載し、指導医の確認をとる。

8. 研修スケジュール

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月		机上回診・総回診					胆膵検査・IVR				CJC	
火		内視鏡検査				内視鏡検査・透視検査						
水		胆膵検査・IVR				胆膵検査・IVR						
木		内視鏡検査				内視鏡検査・透視検査						
金						胆膵検査・IVR						

CJC: クリニカルジャーナルクラブ

※ 空き時間は病棟業務

9. 初期臨床研修時の症例を活用できる専門医機構基本領域専門医資格

- ・ 内科専門医

10. 研修協力施設

- ・ たすきがけ研修病院(協力型臨床研修病院)
  - 市内: 斗南病院、北海道がんセンター、東札幌病院
  - 市外: 製鉄記念室蘭病院、王子総合病院、伊達赤十字病院、小樽掖済会病院、留萌市立病院、市立千歳市民病院、
- ・ 短期研修可能な施設(臨床研修協力施設) 函館赤十字病院